

六、公務ノ為メ負傷及死亡シタル者ニハ左ノ通り救済スル事

一、医薬及治療入院料ノ金額ヲ支拂フコト

二、加療中ハ日給ノ金額ヲ支給スルコト

八、死亡シタル者ニハ金壹千五百圓ヲ支給シ此ニ為所

属組合ヨリ数名ヲ選定シ参考列セシムル事

九、死亡者ニハ外ニ勤労年当リ退職手当ヲ支給スル事

十、公務ニ依リスニテ入社後滿一ノ年以上勤勞スル後

業員及其ノ家族ニシテ病氣又ハ不睦ノ災難ヲ生シ

生活難ニシテ願出人アル時ハ金貳百圓ヲ限度トシ

貸與スル事

但シ従業員中保証人ヲ要シ一ノ月收入ノ二割ヲ以

テ給料支給ノ際差引ク事

三、現業員中ニ再度入社セムモノアル時ハ前ノ勤績等

ヨリ加算シテ手当ヲ支給スル事

其、令社ハ現立所屬作業場ヨリ被破被勤スル場合ハ本

人ノ全意ナクシテ行ハサル事

其、労働組合加入ニ付テハ令社之ヲ防カサルコト

右、条項来ルニ三月四日迄ニ御回答去成後ハ既及噴願小

也

大正十五年三月一日